

豊かな読みの力をはぐくむ指導の工夫

—ゆさぶり発問をきっかけとした話し合い活動を通して—

国語班 岸 猛（小学校教諭）
担当指導主事 義務教育研究係

村田伸宏

本校の実態
読む力の不足
少人数指導

求められて
いること

目的意識をもって
文章を読むこと
読み取ったことを
学び合うこと

具体的な
手だて

ゆさぶり発問の工夫

- ・主人公はだれか
- ・登場人物の性格が最もよく分かる一文はどこか

話し合い活動の設定

- ・私は～と考えます。
- ・なぜなら～からです。
- ・それについてはどうですか。

学習形態の工夫

- ・ペア学習
- ・グループ学習
- ・少人数学習

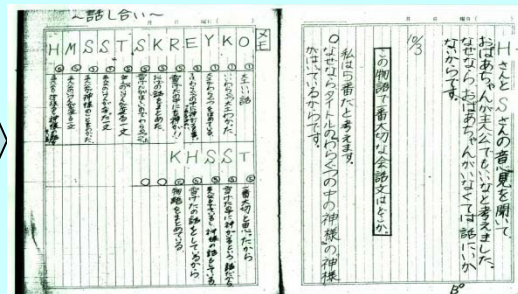
授業改善に向けての実践

「わらぐつの中の神様」（光村図書 5年下）

①自分の
意見を
ノートに書く



②自分の
意見を発表し
友達の
意見をメモする



③友達の
意見に対して
質問や反論を
行う



〈成果〉

- ・ゆさぶる発問を工夫することによって、目的をもって文章をじっくり読むことができるようになった。
- ・話し合いの場を多く設定したことで友達の意見を尊重しようとする姿勢が定着した。

〈課題〉

- ・自分の意見をノートにまとめられない児童への支援をより工夫する必要がある。